

金日成主席が朝鮮式社会主義の建設で積み上げた業績

ロシア・ブラゴヴェシチェンスク金日成・金正日主義研究協会会長
ドンチェンコ

金日成主席が、朝鮮式社会主義建設偉業に積み上げた業績は、疑いなく大きいものです。

今日、社会主義偉業の完成を目指して闘う全朝鮮人民は、金日成主席のチュチェの革命偉業を継承することを本分とみなしています。

それゆえ、われわれは、今回のセミナーで朝鮮民主主義人民共和国の指導者である金正恩総書記の思想と教えに準じて、金日成主席の業績について論じようと思います。

何よりもまず、金日成主席は、深奥な思想理論と非凡な指導力、壮大な革命実践で祖国と人民、時代と革命に業績を残した最も傑出した領袖、政治元老であるということについて言及しなければならないでしょう。

金日成主席は、いつも人民と共にいました。

金日成主席にとって、人民大衆はつねに師であり、金日成主席は人民の忠実な息子でありました。

金日成主席によって、人民大衆の自主的要求と志向が、すなわち思想理論、政策となり、人民大衆に容易に理解され、彼らの進むべき運命開拓の真の道を示すもつとも革命的で科学的な指針がもたらされました。

チュチェ思想は、新しい思想として、朝鮮民主主義人民共和国と朝鮮人民の全歴史においてその生命力を誇示しました。

金正恩総書記は、金日成主席の生誕 100 周年に際して発表した論文で、次のように述べています。

「人民に対する絶対的な信頼と献身は、金日成同志が歴史に類を見ない難関と試練を切り抜け、革命と建設において常に勝利をもたらした根本的秘訣であった。金日成同志は人民を信じ、人民大衆にしっかり依拠したがゆえに、革命の指導思想を創始し、前衛組織を結成し、軍隊を創建し、人民大衆を意識化、組織化する壮大な事業を同時に推し進めてチュチェ革命の新しい歴史を切り開き、ただ一度の路線上の錯誤や失敗もなく各段階の困難かつ複雑な革命闘争と建設事業を勝利の道に導いてくることができたのである」

金日成主席は、早くから主体的な軍事思想と理論を打ち出し、革命的生涯の全期間、革命武力の強化に大きな力を入れ、帝国主義者との血みどろの決戦と厳し

い対決で、いつも勝利を収めてきました。

金日成主席は、去る抗日革命戦争と祖国解放戦争で、数的にも、技術的にも優勢な帝国主義強敵を、政治的・思想的、戦略戦術的優勢で打ち破りました。

まさにここに、チュチェ思想を軍事分野に具現するための革命実践で堅持した金日成主席の創造的立場が反映されているのです。

朝鮮革命の前進途上には、幾多の厳しい試練が横たわっていました。

そのたびに金日成主席は、党があり、政権があり、軍隊と人民がある限り必ず勝利するという必勝の信念と強い胆力、比類ない度胸をもって難局に立ち向かい、逆境を順境に、禍を転じて福となす一方、勝利を達成しました。

金正恩総書記は次のように述べています。

「金日成同志は、チュチェの革命偉業の前進と達成のための万代の礎を築いたわが党と人民の領袖であり、チュチェの太陽である」

革命的な党と政権、軍隊は革命偉業の開拓と前進、勝利を保証する最も威力ある政治的武器です。

歴史は、党と政権、軍隊をいかに建設し、人民を政治的・思想的にいかに準備させるかによって、革命の運命、社会主義の運命が決まるということを物語っています。

金日成主席は、チュチェ型の革命的党である朝鮮労働党と、真の人民の政権である共和国政権を創建し強化発展させ、人民軍を無敵の軍隊に作り上げ、朝鮮人民を思想と信念の強者に育てました。

朝鮮労働党は、革命と建設に対する領袖の指導を確固と保障し、人民大衆が党と領袖の指導に忠実に従って革命と建設の主人としての責任と役割を果たすよう導いています。

白頭の革命強兵に育った人民軍は、革命の中核部隊、主力部隊として社会主義防衛戦と社会主義建設の困難かつ重要な持ち場で、奇跡と偉勲の創造者としての栄誉を高く轟かしています。

金日成主席が譲り渡した最大の愛国遺産は、チュチェの社会主義です。

われわれは今日、全朝鮮人民が、領袖を中心に思想的・意志的に、道徳的・義理的に固く団結し、全社会が同志的に助け導きあう一つの大家庭をなしている現実を目撃しています。

まさにこれが朝鮮式社会主義の本質的特性であり、無限の力の源泉です。

政治における自主、経済における自立、国防における自衛は、チュチェの社会主義の勝利と隆盛・繁栄の道です。

朝鮮の自衛的国防力は、帝国主義の侵略から社会主義祖国を鉄壁のごとく守

るようにし、強国の建設を軍事的にしっかり保証し、朝鮮半島とアジアの平和と安全を徹底的に保障しています。

金日成主席は初めて、社会主義偉業を民族自主偉業と一つに結びつけ、社会主義建設の全過程が、民族の優れた伝統と文化が開花する過程となるようにしました。

金日成主席の活動において、いま一つの重要な側面となるのは、金日成主席が朝鮮革命の将来の発展に深い関心を払ったということです。

金日成主席は、革命偉業の継承問題を、単に革命の代が交代する時期に指導的地位を譲り渡す問題としてではなく、領袖の革命思想と革命偉業を代を継いで固守し輝かしていく事業、革命の将来の運命を決定する重大な問題と見なし、その解決に格別の関心を払いました。

金日成主席は、革命偉業の継承問題を立派に解決して、チュチェの革命偉業を世紀と世代を継いで成功裏に継承し完遂することのできる確固たる保証をもたらしました。

金日成主席は、祖国統一を民族至上の愛国偉業とし、祖国統一運動の強化発展のために、あらゆる労苦と心血を注ぎ、民族の宿望を実現する道に業績を残しました。

金日成主席は、朝鮮の統一の3大憲章を示して、北と南、海外の全朝鮮民族が祖国統一の強力な主体をなし、民族の団結した力によって外部勢力の干渉に終止符を打ち、祖国の自主的統一を早めうる、しっかりした土台を築きました。

今日、祖国統一運動は、内外の分裂主義勢力の反統一策動が極度に達している情勢のもとでも、自主統一の道に沿って力強く前進しています。

金日成主席は、精力的な対外活動で世界の自主化偉業の実現に大きな貢献をしました。

まさにそのため、金正恩総書記は「金日成同志と金正日同志は永遠にわれわれとともにおられる」という言葉で論文を終えたのです。